

# 経営比較分析表

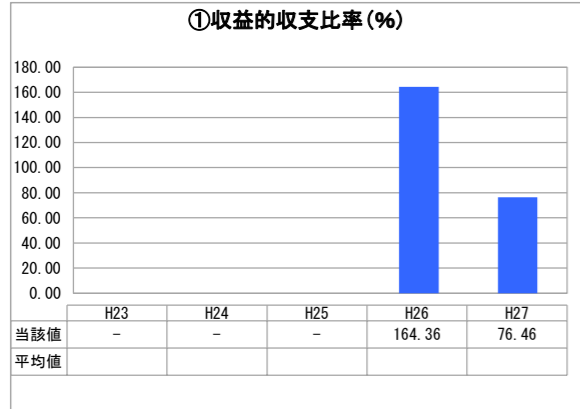
埼玉県 横瀬町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.56	100.00	3,456

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,656	49.36	175.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
134	0.68	197.06

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



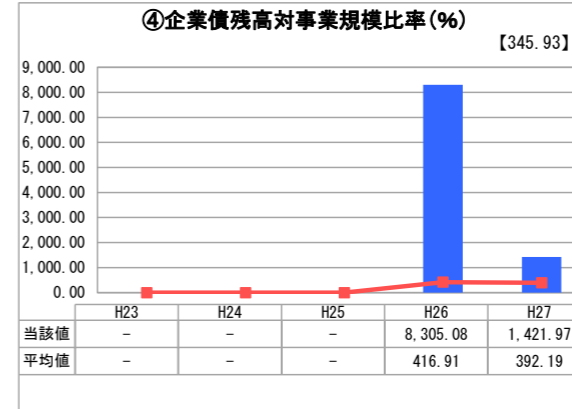
「単年度の収支」



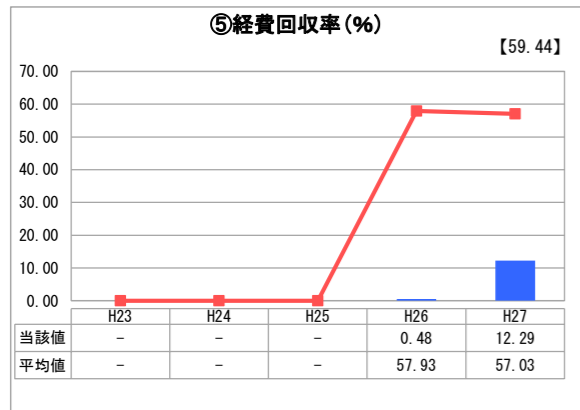
「累積欠損」



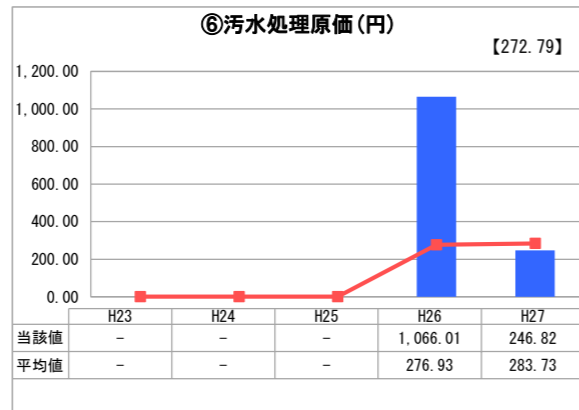
「支払能力」



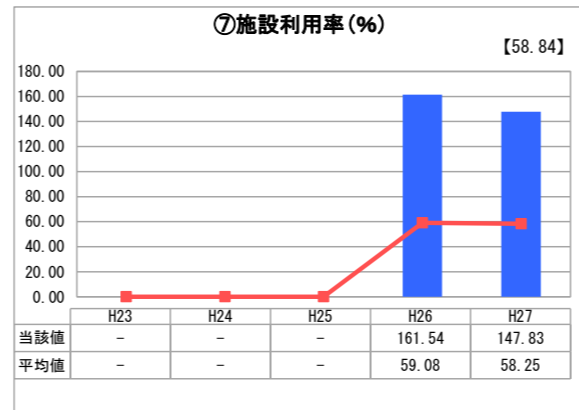
「債務残高」



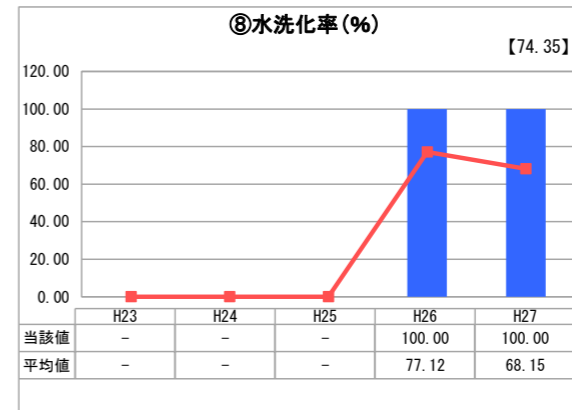
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

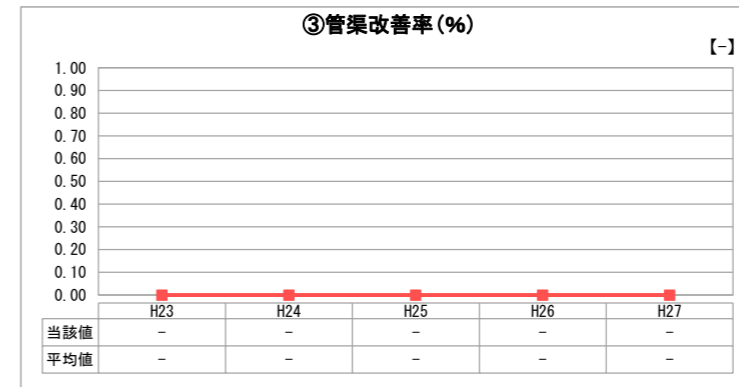
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
平成27年度は使用料収入に対して、浄化槽設置工事が大きくなったため赤字を示している。
- ②累積欠損金比率  
該当数値なし
- ③流動比率  
該当数値なし
- ④企業債残高対事業規模比率  
料金収入に対する地方債残高の規模を表しており類似団体と比較して起債額の比率が大きくなっている。
- ⑤経費回収率  
類似団体と比較して低い値を示している。今後、事業進展による利用者増加に伴い、使用料収入の増加が見込めるが、設置基数の増加に伴い維持管理費用も比例して増加するため維持管理費と使用料収入のバランスを注視していくことが必要である。
- ⑥汚水処理原価  
汚水処理原価が低廉に抑えられている一方で経費回収率が低いことから効率的な汚水処理は出来ているが、その費用を使用料以外の収入で補っている部分が多いと言える。
- ⑦施設利用率及び⑧水洗化率  
施設利用率及び水洗化率については、設置後直ちに使用開始できるという浄化槽の特性が生かされ高い値を指しており、設置した浄化槽が無駄なく利用され公共用水域の水質保全につながっていることを示している。

### 2. 老朽化の状況について

当事業は平成26年度から開始された事業であり、現時点で施設の老朽化による更新は検討していない。浄化槽は設備自体が土中にあるため外的要因による劣化が起こりにくい設備である。定期的に適切な維持管理を行い長期にわたって利用できるよう努めていく。

### 全体総括

事業開始から2年が経過した時点で事業規模が平成26年度と平成27年度で大きく異なるため、前年度比較との数値の差が大きく、類似団体と比較して数値が乖離している点が見られる。今後事業が進展していくことで、経営状態が見えてくると考えられる。今後の社会情勢の変化や財政状況に応じて使用料改定や効率的な維持管理方法を検討するなど安定した経営ができるよう運営していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。